

事業所名

児童発達支援センター マムぐりお

支援プログラム

作成日 令和

7

年

2

月

27 日

法人（事業所）理念	ご本人が“自身の生命を精一杯に開花”できるよう、ひとりひとりの状態に応じた応援で結果を出すこと、そのための専門性追求が私たちの使命であり、それを実践する組織は、常に進化し続ける機能集団であり続けます。											
支援方針	運動、認知、言語、社会性、生活スキルがバランスよく成長するよう支援していく。周りの大人（保護者等）が本児の成長発達を学ぶ。また必要に応じて関係機関と連携し、就学までの支援を行う。											
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無		あり								
	支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。 健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 発達検査 保護者向け研修会 親子通園を実施し、保護者に子供への関わり方や対応について相談を行う。 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学時に子供の様子や支援方法などの情報提供を行う。 就学後、学校訪問等必要に応じて支援を行う。 就学後の利用可能な制度について情報提供を行う。 							
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域生活支援協議会 子ども部会に参画する。 八幡市子ども支援ネットワークに参画する。 親子教室・SST等に職員を派遣する。 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 月1回職員勉強会 月1回リハビリ/心理研修 年数回法人療育研修 その他、外部研修等に積極的に参加する。 							
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 卒所式など 										